

編 集 後 記

花見の季節も暖冬の影響か、あっという間に本州を駆け上がり、今頃は東北・北海道にわずかに残る程度でしょうか。

昨年度は何もかもが不況色に染まってしまい、なかなか泥沼から抜け出せない状況が続きましたが、景気もようやく底打ちしたかのようです。小泉内閣の構造改革が中々結果を出せないのは、マスコミによるデフレスパイラル現象のような気がします。政策については皆一様に、常にマイナス評価をし、それが世論を誘導しているところが無きにもあらず。誰もが悲壮感のみを漂わせているかのような報道が見られます。もちろん情報操作は許されませんが、子育てと同様、良いところを誉めないと益々ネガティブになる一方です。

明るい話題も取り上げて、日本も捨てたものではないと奮い立たせることも必要ではないでしょうか。また、金融機関のペイオフがこの4月をもって解禁となり、どの程度の取り付け騒ぎが起きたか定かではありませんが、これが金融業界への信頼を回復し、さらには経済復興に繋がることを期待したいと思います。

さて4月号は特集号ではありませんので、報文8編を中心に構成しています。巻頭言は国土交通省港湾局環境・技術課の小谷技術指導官より「新世紀を拓く港湾の技術」としてご寄稿頂きました。随想は日立建機技術開発センタ主管研究員の長澤氏と四国電力取締役建設部長の武山氏にお願いしました。また、除雪機械展示・実演会見聞記として北海道開発局事業振興部機械課の尾村氏にご寄稿いただきました。ご執筆いただきました皆様には、年度末のご多忙の中でご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

間もなく、韓国との共催によるワールドカップ2002が始まり、日本全国がサッカー色に染まります。日本各地で外国チームがキャンプを張ることになり、様々な交流が生まれることでしょう。日本チームと韓国チームが共に決勝トーナメントに進むよう応援し、また、それが経済効果に大きくプラスになることを期待しています。

最後に、協会員の皆様ならびに読者の皆様のご健勝と、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

(高野・緒方)

— 次 号 予 告 —

平成13年度社団法人日本建設機械化協会の事業報告
大口径リバース工法を用いた立坑の合理的構築工法
ITを用いた高速道路の大規模盛土構築
奥只見ダム増設工事における穴開け施工の概要
トンネル掘進機の余掘防止システム(NARAI掘削)による施工実績報告
移動体通信を利用した建設機械の管理システム
路面切削機の変遷と現況

機 関 誌 編 集 委 員 会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 邦彦
新開 節治	高田 勇彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
中野 俊次	本田 宜史
両角 常美	渡辺 和夫

編集委員長

橋元 和男

編集委員

久保 和幸	国土交通省
山口 修一	国土交通省
池田 哲郎	国土交通省
窪 豊則	農林水産省
江藤 祐昭	原子力安全保安院
本多 明	日本鉄道建設公団
軍記 伸一	日本道路公団
門田 誠治	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 和功	水資源開発公団
高村 和典	日本下水道事業団
吉村 豊	電源開発
渡辺 博明	大林組
百瀬 千鷹	鹿島
橋本 弘章	川崎重工
岩本雄二郎	熊谷組
矢仲徹太郎	コベルコ建機
金津 守	コマツ
奥山 信博	清水建設
山口喜久一郎	新キョウテラ三菱
荒井 政男	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
境 寿彦	日本国土開発
齊藤 徹	日本舗道
館岡 潤仁	ハザマ
緒方浩二郎	日立建機

No.626 「建設の機械化」 2002年4月号

〔定価〕1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成14年4月20日印刷

平成14年4月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明
印刷所 株式会社技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; FAX (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

建設機械化研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支部	〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-27	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56	電話 (092) 741-9380